

# 臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所／No. 2007-R26

先生各位

平成 19 年 11 月

A-07-09

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
また、平素は格別なご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび、下記検査項目におきまして、検査項目名称、検査内容および報告様式を変更させて頂きたく、ご案内申し上げます。  
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- ◆ 実施日 平成 19 年 12 月 1 日（土）ご依頼分より
- ◆ 変更内容

2007 年検査案内	項目コード	変更内容	新	旧
未掲載	13910	項目名称	ノロウイルス RNA マルチ	ノロウイルス抗原 (RNA)

これまでのノロウイルス RNA に加え、発生頻度は低いものの、乳幼児のウイルス性胃腸炎の原因として知られているロタウイルス A 群、ロタウイルス C 群、アデノウイルス 40/41 型、アストロウイルスの 4 種も同時測定致します。各ウイルスについて、(+)または(-)の定性判定結果をノロウイルス GI、GII の結果に続けて併記致します。それに伴い、項目名称を現在の「ノロウイルス抗原 (RNA)」から「ノロウイルス (RNA マルチ)」に変更させていただきます。

尚、項目コード、容器、報告日数に変更はございません。 報告様式は裏面をご参照下さい。

### 症状の特徴

ノロウイルス	汚染された食物（生カキ、サラダなど）、飲料水などを介して感染し、学童、成人、老人施設に集団発生し易い。毎年、乳児以上のウイルス性下痢症の大多数を占める。
ロタウイルス (A 群)	1 月初旬からインフルエンザより先に乳幼児の間で流行し、生後 6 ヶ月から 2 歳までが好発年齢で、重症化し易い。
ロタウイルス (B 群)	主に 3 歳以上の年長児や成人にみられ、春から夏にかけて比較的多く、A 群のような大規模な流行は殆どない。
アデノウイルス (40/41 型)	主に 3 歳未満の乳幼児にみられ、この年齢層の感染性胃腸炎では A 群ロタウイルスに次いで多い。通年性であるが、夏期にやや多いこと、比較的軽症で発熱が少ないことが A 群ロタウイルスとは異なる。
アストロウイルス	主に乳幼児に散発性の急性胃腸炎を起こすが、成人や老人施設で流行することもある。冬期に発症するが、一般的に軽症で嘔吐や発熱も少ない。

ここ数年、毎年冬場にはノロウイルスによるウイルス性胃腸炎（嘔吐・下痢症）が全国的に多発していますが、上記に挙げたその他のウイルスでも類似の症状を示しますので、ノロウイルス RNA 検査陰性例からこれらのウイルスが検出されることがあります。

(裏面をご覧ください)

【 報告様式 】

<ノロウイルスG2 が陽性の場合の実例>

項目名称	新		旧	
	ノロウイルス (RNA マルチ)		ノロウイルス抗原 (RNA)	
結果報告表記	ノロ G1	(-)	G1	(-)
	ノロ G2	(+)	G2	(+)
	ロタ A	(-)		
	ロタ C	(-)		
	アデノ 40/41	(-)		
	アストロ	(-)		

専用採便容器使用のお願い

ノロウイルス RNA 検査は、ウイルス核酸を抽出して RT-PCR 法により遺伝子増幅反応を行いますので、必ず専用採便容器に適量を採取して密栓後、速やかに凍結保管して下さい。特に、密封性の悪い容器に水様便を採取されますと、検体解凍時に内容物が漏出してクロスコンタミネーションによる偽陽性の発生や、作業員への感染事故を招く危険性が高まりますので留意下さい。